

乙第3号証

切符様式第1号

供述調書(甲)

本籍、住所、職業、別紙記載のとおり

氏名 野村 一世
昭和40年2月25日生(48歳)

上記の者に対する道路交通法違反被疑事件につき平成25年7月21日 速反者宅玄関前において本職は、あらかじめ被疑者に対し自己の意思に反して供述する必要がない旨を告げて取調べたところ、任意次のとおり供述した。

1 警察官から言いにくいことは言わなくてもよいと言われまして、その意味についてはわかります。

2 平成25年5月16日、速度違反をしたことは認めます。だから署知しました。指印・押印しない理由は、違反した私・本人が認めサインしてあるから、その上に必要ないでしょう。

3 夜通裁判所の出頭については。

平成25年8月23日午後

供述人 ⑩
以上録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。
前同日 神奈川県 警察署
司法 ⑩

初見メモ

(継 続 用)

出頭します。場所については
お知らせいたします。

以上のとおり録取して、読み聞かせ
の上で閲覧させようとした
ところ、「お前ら警察は平島下
うきをつく」と申し立て
読み聞かせ閲覧もせぬ
署知指印も拒否した。
前同五

神奈川県警署

司法警察員

調査部長 和内豊